

Ⅱ. 高齢労働者の特性等に配慮した労働災害防止の「見える化」

階段どこまで登れたか自慢話の見える化

朝礼での元請からの注意指示事項

「今日は昼頃から気温と湿度が上がります。昇降階段の3段目うどんは軽いでしょうが、5段目の明太子あたりで一服して体調を確認して下さい。」

作業員さんの体調確認KY活動の会話

「今日は調子んよかけん、餃子 まですーすらすうて行くごたあ。」

「3日ばっかいちーと鍛ゆんぎんた 胡麻サバ まで行ききつぱい。」

建設工事では各階の階高は用途によって違いはありますが通常は途中休憩なしで昇降出来る3m～5m程度の高さです。

しかし当現場は高速の高架道路のため高さが約14mの昇降設備が必要です。途中に階数等の目印や標示がないので、階段昇降時に

「何処まで登ったか。？」

「あとどの位登ればよいか。？」

「休憩のタイミングは今か次の踊り場か。？」

を知るために各踊り場に

【段数と博多の旨いもの】

を標示しました。



各踊り場の段数と博多の旨いもの標示



また 枠組みを3スパン使用して左右に踊り場を1スパンずつ設け、階段は500mmを2列使って1000mm幅のすれ違いやすい昇降設備としています。

各踊り場には 写真の様な【段数と博多の旨いもの】を標示しました。



踊り場【3段目 うどん】標示



踊り場【5段目 明太子】標示



踊り場【7段目 餃子】標示



踊り場【9段目 胡麻サバ】標示